

第 43 回 旧 R D 最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日 時 令和 4 年 11 月 25 日（金） 19 : 00～20:50

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

■主な質疑・ご意見

1 前回の開催結果の確認について

①前回、アーカイブの中で県は R D 社を優良企業と言いつけた理由を明らかにしてほしい、と意見を出して、それに対する県の回答が、今後事務局案の作成を進める中で参考にさせていただき、とのことだが、参考にするとはどういうことか、明らかにしてくれないのか。

⇒いただいたご意見をもとに、過去の記録を調べて確認したうえで確実な情報としてアーカイブに書き込んでいきます、と回答しました。

2 令和 4 年度第 2 回モニタリング調査結果について

②No. 1 地点の電気伝導度は平成 30 年 4 月以降上昇傾向にあり、この地点のみ他と違う動きをしている。硫酸イオンやカルシウムなどいくつかのイオンを調べることでこの原因のヒントがわかるかもしれないので、そういった調査を試みてはどうか。

⇒処分場由来の 1, 4-ジオキサンは上昇していないため、処分場が原因ではなく、有害物質が電気伝導度の上昇に影響しているとは認められません。また、過去からヘキサダイアグラムの調査を続けており、硫酸とカルシウムが上昇していることは確認しているが、それが何によるものかというところまでは分かっていないので、ヘキサダイアグラムの調査回数を少し調整するなどしてしっかりと原因を調べていきたいと思っています、と回答しました。

4 対策工の有効性を確認するための評価方法（案）について

③対策工の有効性確認の調査と旧処分場の安定化確認の調査とを切り分けていいのか。また、対策工前後でどう変わったのか、掘削したところはきれいになっていなかったところは大丈夫だったのか、調べていただかないと対策工が有効だったのかに対して納得ができない。

仮に対策工が一定の効果があったとしても、揚水ピットにカドミウムのような有害物が出てくるのが続くと何年も浄化策を取らざるを得ないと思うがどうか。

⇒掘削せずに廃棄物土を残置している個所については、時間はかかるが旧処分場の安定化に向けて雨水の洗い出しにより浄化していく。対策工の有効性を確認する時点では安定化の途上であり、また、調査については技術的な課題もあるため、何ができるのかアドバイザーに相談しながら考えていきます。浸透水については、対策工前は有害物質 8 項目について基準を超えていたが、

現在はカドミウム1項目に減少しており、永遠に浄化し続けることは考えておらず、内部管理をしっかりとしていきたいと考えています、と回答しました。

このプランは通常のモニタリング調査とそんなに変わらない感じがするため、プラスαでどういった調査が必要か、そこについて知恵を絞ってほしいと思う。

⇒アドバイザーとよく相談しながら検討させていただきたい、と回答しました。

- ④ P. 6に地下水の水質の評価について年平均値で確認するとあるが、年平均値が環境基準以下であれば基準より高い値が1回出てもいいということか。また、なぜ年平均値なのか。

⇒そのとおりですが、基準を超える個別値がある場合は、超過の程度や1,4-ジオキサンなど他の有害物質を含めた変動傾向を踏まえ、異常がないか確認していきます。なお、年平均値としているのは、環境基準を超過しているか否かを確認する場合は年平均値で算出することが決められているためです、と回答しました。

- ⑤ P. 7に覆土や安定勾配の形状が維持されていることを点検により確認するとあり、点検表に基づいて点検・評価されていると思うが、点検内容を教えてほしい。

⇒次回の連絡協議会で点検表を提出します、と回答しました。

(点検表については別添「資料1 添付資料」のとおり)

- ⑥ P. 3の調査項目で、有害物質や一般項目は調査頻度年4回とあるのにイオンは年1回とあるが、そのイオンというのはその他項目のことか。

⇒ここで言うイオンとは、P. 3の「その他項目」に記載のナトリウム、マグネシウム、カリウム、カルシウムといった一般的なイオンの項目のことです。電気伝導度は水に溶けている物質の影響を受けることから、これらのイオンを測定してヘキサダイアグラムを作成し、地下水の水質の解析等に使用しています、と回答しました。

日常点検・臨時点検シート

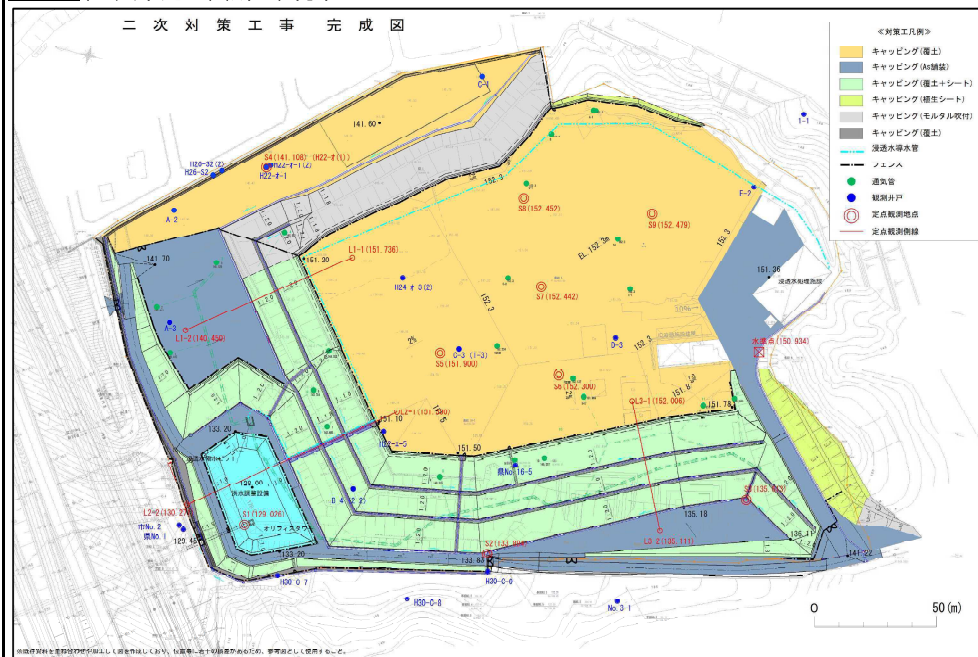
日付: 令和**年 **月**日
天候: 晴・曇り・雨・雪
風: 強・弱・無

点検者: **

気象情報: **

施設	点検項目	異常の有無	異常箇所の概況
キャッピング工			
・覆土	・大きなひび割れ、陥没等により多量の水浸透が生じるおそれ	有・無	
・キャッピングシート (防草シート)	・シートの損傷(破れ、穴あき等)により多量の水浸透が生じるおそれ ・シートの異常な伸び・張り・膨らみ・くぼみ等による明らかな変状	有・無	
・モルタル吹付	・大きなひび割れ、剥離、崩壊等により多量の水浸透が生じるおそれ	有・無	
・アスファルト舗装	・大きなひび割れ、陥没等により多量の水浸透が生じるおそれ	有・無	
雨水排水路	・水路、柵のひび割れ、劣化等による漏水のおそれ ・土砂、塵芥等の堆積による排水阻害	有・無	
洪水調整池	・シートの損傷(破れ、穴あき等)による漏水のおそれ ・土砂、塵芥等の堆積による閉塞	有・無	
通気管工	・通気施設の変形・破損	有・無	
モニタリング工	・モニタリング施設の変形・破損	有・無	
管理用道路	・大きなひび割れ、陥没等により多量の水浸透が生じるおそれ ・土砂の崩落等による通行阻害	有・無	
門扉、フェンス等	・門扉、フェンスの変形・破損	有・無	
その他	その他施設の異常	有・無	

位置図(※異常発生箇所を图示)



特記事項

--

※定期点検補足説明

施設単位(覆土等)で評価する
 (最も損傷が顕著と思われる箇所を代表箇所とする)
 過年度との変化の有無、状況を点検する

・定期点検シート

施設名： _____

点検日： 月 日 () 天気： _____

点検者： _____

点検すべき留意事項	点検結果 (変化の有無、状況)
既往クラックの変化	
新規クラックの有無	
陥没・盛上り等の変状の有無	
植生状況	
<p><総評></p> <p>(留意事項に対する点検結果)</p> <p>(新たな変状の有無)</p> <p>(補修の必要性)</p>	

代表箇所の写真と状況

